

分野名：ボランティア活動

共創による地域コミュニティ活性化に向けた

ボランティア活動の取組

～学校・公民館・地域による連携を通して～

福岡市賀茂公民館【公立公民館】

館長 越智 廣己

1. 地域の概要

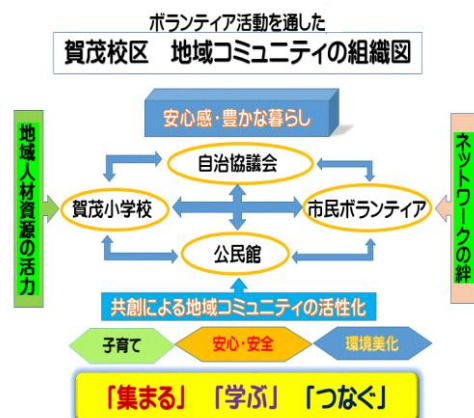
- 賀茂校区は早良区のほぼ中央に位置しており、地勢は平坦で校区の中央部を金屑川が貫流している。近年、校区の南側に平成外環が通り、その上を福岡市都市高速道路環状線があり、地下鉄七隈線「賀茂駅」も所在する交通至便な住宅街として発展している。
- 戸建住宅や集合住宅が多く北部にはUR大型団地（星の原団地）も立地している。一戸建て住宅も立ち替わり 30～50 代の人口が最も多く子育て世帯の転入も見られる。
[・人口；10,073人/・町数；10町/・組数；77組/・世帯数；5,021世帯]
(令和4年度9月住民基本台帳掲載より)

2. 地域の状況から

- 地域の絆を深めコミュニティ活動の大切さを共有するため、福岡市は今年4月に「共創による地域コミュニティ活性化条例」を制定した。本校区においても住民同士の繋がりを重視し「安心感」「豊かな暮らし」「地域づくり」を目指し、自治協議会をはじめ公民館・各種団体と協力し、ボランティア活動を取り入れたコミュニティ活動の活性化を図っている。

3. 事業名＜各種ボランティア活動＞

- (1) ①賀茂小学校「放課後支援」(イ)・(ロ)
②賀茂小学校「賀茂っ子タイム支援」
- (2) 【なまずの会】による「交通安全対策支援」
- (3) 【地域ボランティア】による「各種支援」
- (4) 【学生ボランティア】による
「公民館主催事業支援」



4. 事業内容・連携協力団体

【内容/成果】

(1) 賀茂小学校児童支援

①- (イ) 放課後支援～学習支援～

放課後、児童が公民館や集会所において、公民館長やシニア有志ボランティアの補助により、宿題・自習を行う「寺小屋」を実施している。その際は、基本1時間と設定し、事前に担任・保護者へ連絡をとるようにしている。

(現在コロナ感染予防のため活動を休止中)

【成果；感想から】

- 違った環境（公民館・集会場）での学習の取組に学習意欲を示す児童が増えている。
- シニアボランティアと児童との活発な交流が展開されている。（学習以外の会話を通して）
- 児童の感想；宿題に楽しく取り組める。わからないことがわかると嬉しい。等



【宿題「寺小屋」】

①-（口）放課後支援 ～下校通学路支援～ ＜地域住民ボランティア活動＞

新1年生が単独で下校する場合、学校から自宅までの道のりを確実に覚えるための支援として、4月から5月末まで、学校職員と地域（10町の有志）の方々が各3人以上で見守りを実施している。対象保護者は自宅玄関で待機している。

【成果；感想から】

- 保護者・学校が、「安全・安心な下校」を期待している。
- 地域の方々が自分の町内の児童がわかり、声掛けや、安全指導に役立つ。
- 固定した支援者ではないので、毎回の引継ぎの徹底が大事になる。等



【下校通学路支援】

② 賀茂っ子タイム支援 ＜「ユーカリの木」によるボランティア活動＞

・朝の絵本の読み聞かせ

月2回、木曜日朝8:40～50、「賀茂っ子タイム」の時間に、「ユーカリの木」のボランティア団体による絵本の読み聞かせを実施している。賀茂小学校1年から6年まで全クラスに「ユーカリの木」の皆さんが1人ずつ教室に入り、それぞれ独自で選択した絵本を準備し、読み聞かせを行う。

【成果；感想から】

- 月2回の読み聞かせの時間を児童は楽しみにしている。（担任の声）
- 児童が「ユーカリの木」のメンバーを知り、校外ですれ違う際のあいさつが増えた。
- 公民館の「かも文庫」の図書の貸し出し、閲覧が増えてきた。



【「ユーカリの木」メンバー】

（2）「なまずの会」による交通安全対策支援

「なまずの会」は、平成18年4月に結成されてから今まで、交通安全や、防犯活動に熱心に取り組み、この活動が子どもたちの安全・安心に大きく貢献していると認められ、平成26年度には文部科学大臣表彰「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞している。（福岡市HPから抜粋引用）



「文部科学大臣奨励賞」

◆ 受賞歴 平成25年11月 福岡県教育委員会教育長 平成26年11月 文部科学大臣奨励賞

【主な活動】

- ①通学路交通立ち番（45名前後）
- ②青パトロールカーによる校区内巡回パトロール（23名）
- ③自転車パトロール（各地域）



【通学路交通立ち番】

- ④住居周辺歩行パトロール（各地域）
- ⑤第2・第4土曜日：夜間防犯パトロール（各町内）

（3）地域ボランティアによる各種支援

- ①たのまん会＜ワンコインサービス＞
- ②子ども会による廃品回収＜各町内＞
- ③金屑川清掃
＜地域住民によるボランティア清掃・
校区一斉清掃＞
- ④フラワーボランティア
＜「遊花」によるボランティア活動＞
- ⑤こがも広場
＜子育て交流サロン；
子育てサポーターによる活動＞



〔たのまん会〕



〔金屑川清掃〕



〔フラワーボランティア〕



〔こがも広場〕

（4）学生ボランティアによる公民館主催事業支援

- ①各種（「子ども体験」等）事業における学生ボランティアと児童との交流
＜福岡大学看護学生・久留米大学学生＞
- ②ユーカリ劇場・寄せ植え体験・カレンダーづくりにおける活動補助
＜受付・活動等の補助＞
- ③「大学生に学ぶ」講座として「算数とプログラミング」の学習会
を実施予定＜企画・内容等を大学生が立案する＞



〔児童との交流〕



〔ユーカリ劇場〕

5. 事業の成果

- 地域と共働したまちづくりを進めるには、「ボランティア活動」としての地域コミュニティ活動が重要な役割を担う。今、学校・公民館・地域による連携や活性化へのエネルギーの渦が「安全」・「安心」・「豊かな暮らし」を支えていると推測する。
- ★「なまずの会」による交通安全対策への支援 ★「地域ボランティア」による各種支援 ★「学生ボランティア」による公民館事業への支援等、それぞれの特色を生かした活動内容を通して、校区住民のネットワークの「絆」が広がり、活力ある賀茂校区の発展へとつながっている。これからもさらに地域の未来を創っていく「共創による地域コミュニティの活性化」を目指していきたい。

6. 今後の課題

- ボランティア活動に携わる「人」を招集するには、様々な情報や協力体制が求められ、そのことが課題となる。町内会や自治協議会・学校行事への参加等、あらゆる機会を捉え、活動の意義や内容の理解を進めていく必要がある。まず、出来る範囲でのボランティア活動を行うことから始め、住民同士の交流の場を拡大したい。

問い合わせ先

〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂1丁目33番7号 福岡市賀茂公民館
TEL：092-863-7741 FAX：092-863-7952 E-mail：kamo92@jcom.home.ne.jp